

## 創立30周年にあたり

むれやま荘が30周年を迎える年、私たちは2つの社会福祉法人を合併し、社会福祉法人グロー（GLOW）として新たなスタートを切ることとなりました。故・糸賀一雄先生が大切にしてきた思想や言葉を胸に、制度に捉われず必要なことは積極的に実践し積み重ねていく、そんな社会福祉法人を目指して船出をしたところです。

むれやま荘は、故・岡崎英彦先生が、びわこ学園の理事長を務めていた時に、県からの委託を受けて開所した身体障害者更生援護施設であり、当時の新聞記事の内容では「身障者の社会復帰のための機能回復、職能、生活訓練を行う入所施設」と紹介され、医学的リハビリテーションが中心となる施設でした。30年を経た近年では、日常生活や社会生活への適応に困っている「高次脳機能障害」の人たちに焦点を当て、積極的に支援を行う福祉施設へと転換を図っているところです。これは、医師として名高いキャリアから転身され、平成12年から施設長として着任し、以来15年という長い間、ご活躍頂いている島田司巳先生のご尽力によるところが大きく、福祉支援にも惜しみない熱意と愛情を注ぐ姿勢は、ただただ尊敬するばかりです。

また、糸賀先生も岡崎先生も、必要なものは創るという姿勢の中で、その時代に求められるものを他者に委ねることなく、自らの責任をもって実践することを示されてきました。私たちも、今求められていることを感受し、実践できる社会福祉法人でありたいと考えています。

糸賀先生は、「この子らを世の光に」という言葉を残されました。糸賀先生や岡崎先生が活躍された戦

後という時代背景の中で、社会の変革を願い、弱い子どもたちや重たい障害がある人たちの生き方の中にこそ光があるのだというこの響きは、学生時代の私を驚かせました。そして昨年、糸賀先生が作り、岡崎先生が生涯をかけて運営された「びわこ学園」の50周年式典で「生きることが光になる」という言葉が掲げられているのを見た時、学生時代と同じ驚きを感じ、そしてこの言葉の素晴らしさに感動を覚えました。私はすぐに、びわこ学園の理事長に会いに行き、新法人グロー（GLOW）の理念に「生きることが光になる」を掲げる許可を頂きました。今、この時代は、糸賀先生や岡崎先生の時代より物質的には豊かになっていますが、様々な事情を抱え「生きづらさ」を感じている人は大勢います。そんな状況にある人たちを見逃すことなく支えられる社会にしていきたい、そしてその旗頭は福祉の役割であり、私たちの出番なのだ強く感じています。

むれやま荘が30周年を迎え、私たちが新たにグロー（GLOW）として歩み始める時に、岡崎先生が結ぶ縁から「生きることが光になる」という言葉に出会えたこと、糸賀先生や岡崎先生の福祉への想いをしっかりと学び直す機会を頂けたことに感謝しています。そして、これからの時代、むれやま荘が求められる役割は何かということに常に意識し、グロー（GLOW）が掲げる「生きることが光になる」という法人理念に恥じることのない事業展開をしていきたいと思っています。

最後に、これまでむれやま荘を支えて頂いた方々へ感謝申し上げるとともに、今後もご支援を賜りますようお願い申し上げます。



社会福祉法人グロー  
理事長 北岡 賢剛

## Anniversary Memorial magazine

### 創立30周年にあたって

むれやま荘は開所してから30周年を迎えることができました。これも地域の皆様、数多くのボランティアや関係者の皆様の長年に渡る温かいご支援・ご指導を賜ったことと心から感謝申し上げます。

今回の障害者総合支援法の基本理念では、「制度の谷間」のない支援を提供する観点から「日常生活・社会生活の支援が、共生社会を実現するため、社会参加の機会の確保及び地域社会における共生、社会的障壁の除去に資するよう、総合的かつ計画的に行われる」ことを新たに掲げています。それは、「自立」という概念と併せて「共生」という概念も緊要であり、我々が共に生きることで、「その人らしさ」に向き合う視点が生まれてくると考えます。

さて、「その人らしさ」を追求する中で、社会福祉法人グロー（GLOW）のロゴは「完成されたひとつの形」ではなく、「多様でオープン」なシンボルとして採用さ

れました。閉じない線で構成された「gllow」の文字をむれやま荘でたとえるなら、「いつでも誰もが利用でき、いつでも退所できる通過型施設」として、地域に「その人らしさ」を発信していきたいと思えます。

これからも、生まれ育った地域の中で暮らしていきたいとの願いに応えるため、「参加・活動」を柱に、利用者の皆様やご家族のありのままに向き合って、一人ひとりの人生に応じた支援を心がけ、むれやま荘を利用される方々が「過去の自分から未来の自分にバトンタッチ」できる施設づくりを行っていきます。



滋賀県立むれやま荘  
所長 宮川 和彦